

各 位

2010年中間期ディスクロージャー誌正誤表

「2010年中間期ディスクロージャー誌」の記載に一部誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに、以下の通り訂正いたします。

自己資本の充実の状況

自己資本比率ハイライト

[P206]

みずほコーポレート銀行(単体)(平成22年度中間期、単位:億円)

	(現行)	(訂正後)
単体自己資本比率(国際統一基準)	18.87%	18.87%
Tier 比率	14.18%	14.15%
Tier	36,333	36,240
Tier	12,500	12,592
控除項目	496	496
自己資本額	48,337	48,337
リスク・アセット等	256,089	256,089

訂正箇所には下線を付しております。

みずほコーポレート銀行単体の自己資本の充実の状況

単体自己資本比率

[P297]

(1)単体自己資本比率総括表(国際統一基準)(平成22年度中間期、単位:億円)

		(現行)	(訂正後)
基本的項目 (Tier)	その他	9,091	8,998
	繰延税金資産の控除前の基本的項目計(上記各項目の合計額)	36,333	36,240
	計 (A)	36,333	36,240
	Tier に対する割合 = (B) / (A) × 100	10.08%	10.11%
補完的項目 (Tier)	海外SPCの発行する優先出資証券	9,083	8,990
	負債性資本調達手段等	12,064	12,157
	うち永久劣後債務	4,281	4,374
	計	12,500	12,592
	うち自己資本への算入額 (C)	12,500	12,592
Tier 比率 = (A) / (O) × 100		14.18%	14.15%

(現行)

注) 4. 「繰延税金資産に相当する額」は平成21年度中間期2,382億円、平成22年度中間期1,029億円であり、「繰延税金資産の算入上限額」は平成21年度中間期6,273億円、平成22年度中間期7,266億円です。

訂正箇所には下線を付しております。

(訂正後)

注) 4. 「繰延税金資産に相当する額」は平成21年度中間期2,382億円、平成22年度中間期1,029億円であり、「繰延税金資産の算入上限額」は平成21年度中間期6,273億円、平成22年度中間期7,248億円です。